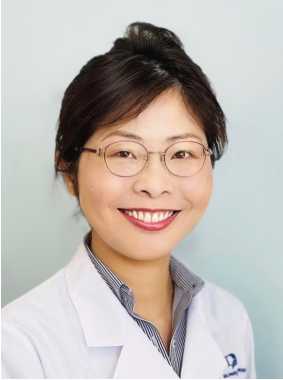


矯正歯科治療における3次元デジタル技術の応用



大阪大学
谷川千尋

近年、歯科において、口腔内模型、顔面形態画像、CTなど、3次元デジタル情報の量は急激に増加しています。歯科臨床において、歯・顔・顎の形を3次元的に評価することは重要ですが、3次元画像は2次元画像と比較して分析に手間がかかることから、その活用は限定的でした。AIを用いて形態異常の有無や程度を客観的に判断し、さらに3次元形状予測が可能となれば、医療従事者の負担を軽減するのみならず、患者に安心・安全な治療を提供する上で有用だと考えています。

そこで、本講演では、矯正歯科治療における3次元解析におけるAIの応用について、お話させていただきたいと思います。本講演が3次元解析を臨床応用する上で皆様のヒントになれば幸いです。

略歴

2005年 大阪大学大学院歯学研究科 卒業 (博士(歯学))

2006年 大阪大学大学院歯学研究科矯正科 助教

大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 兼任

2007年 ノースカロライナ大学チャペルヒル校 歯学部矯正科 客員研究員

2008年 メリーランド大学歯学部矯正科 助教

2010年～現在 大阪大学大学院歯学研究科矯正科 講師

大阪大学国際医工情報センター 兼任

2019年～現在 大阪大学データビリティフロンティア機構 兼任